

あだちどまんなか



中島根

平成31年1月31日

足立区立中島根小学校

校長 武井 利依

平成30年度2月号

がんえん い こ そ もく と
顔淵曰わく、請う其の目を問う。

しのたま れい あら み な れい あら き な
子曰わく、礼に非ざれば視ること勿かれ。礼に非ざれば聴くこと勿かれ。

れい あら い な れい あら うご な
礼に非ざれば言うこと勿かれ。礼に非ざれば動くこと勿かれ。

校長 武井 利依

校庭の梅もほころび始め、一雨ほしいこの頃です。来る日曜日が節分、週明けとともに春がやってきます。例年、3年生は驚神社での節分行事から学んでいます、今年は、どうぞご家族揃ってお出かけください。一緒に体験できる機会を活かしていただきたいと思います。

1月は席書会から始まりました。それぞれが思いを込めて書かれた作品をご覧いただけましたことと思います。書き初め展は明日最終日です。まだご覧いただけてない方はお急ぎください。

先週は6年生、今週は5年生がそれぞれに社会科見学を行いました。学校を離れて学ぶという事は「百聞は一見にしかず」の通り、今までの学びを確かめ、新たな課題を見つけることです。振り返りをていねいにし、これからの学びに活かしてほしいと願っています。

今年も元サッカー日本代表の岩政大樹選手にご来校いただきました。サッカーをご指導いただいた6年生、お話をうかがった5・6年生、とりわけ予選リーグを勝ち抜いた男子サッカーチームのメンバーは岩政イズムを感じとったことでしょう。26日の大会で、中島根小学校として16年ぶりの優勝につながりました。翌週には、開かれた学校づくり協議会と放課後子ども教室共同企画のキャリア講座で、備藤依利パティシエールからもお話をうかがいました。

今月の論語の章句は1月に紹介した問答の続きの部分です。顔淵が「仁」を行うには具体的にどのようにすべきか重ねておたずねしたのです。それに対して「礼に外れたことは、見ない聞かない、言わない、しない、ということだ。」と、お答えになったという内容です。「仁を行うには礼という規範から外れてはいけない。」ということをお伝えしています。岩政選手も備藤パティシエールもご自分の思いを大切にしつつ、礼を尽くし、規範を守り、ご自身の生き方を追求されて今につながっていらしたことを直接言葉でお伝えくださいました。また、今、世界で活躍する大坂なおみ選手や森保ジャパンの選手達もその行動を通じて私達に訴え、感動を呼び起こさせてくれています。本校においても青少年対策11地区委員会主催の「善行青少年表彰」を受けた5人の6年生も「あだち環境かるた大会」で健闘した11人も、それぞれが自分自身の思いを行動で示してくれました。こうした努力をしている子ども達のことを、周囲にいる私達が気づいていること、自分の行動に自信をもってよいことを伝え続けたいと考えます。

来週末は3年ぶりの展覧会です。児童は作品を通して自分の思いを表現しています。土曜授業の際、ご鑑賞ください。土曜日は午後4時までご鑑賞いただけますので、午後にお子さんと共に鑑賞され、さまざまな気づきを共有されることをおすすめします。お待ちしております。

2月の生活目標：進んで体をきたえましょう

2月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
※SCはスクールカウンセラー来校日 SSWはスクールソーシャルワーカー来校日 ※水曜日 ④…4時間授業 ⑤…5時間授業 ※短…短縮時程					1 SC 書き初め展終	2
3	4 短 もりもり給食 ウィーク始	5 SC 出前授業 6年	6 ④ 研究授業 4-2のみ 5時間授業	7 新1年生 入学説明会 体験入学	8 SSW SC 展覧会 (児童鑑賞日) もりもり給食 ウィーク終	9 土曜授業 展覧会 (保護者鑑賞日) 新1年生体験入学
10	11 建国記念の 日	12 SC 六月中見学 6年 クラブ発表始	13 ④	14 短 ハッピータイム	15 SC 短 算数・数学 検定 クラブ発表終	16 足立区 女子サッカー大会
17	18 中島根郵便 局(2年)始	19 SC 年度末校内 学力調査	20 ⑤ 交通安全教室 1・2・4年 委員会活動	21 避難訓練 (起震車・煙ハウス) 保護者会6年	22 SC 中島根郵便局 終	23 コーラス部 (研究演奏会)
24	25	26 SC 6年生を 送る会 お別れ給食 お別れ集会	27 ⑤ クラブ活動 (3年生見学)	28 短 ハッピータイム	1 感謝する会 6年 1~5年 4時間授業	2 足立区 百人一首大会

席書会

第6学年担任 八百 秀明・太田 薫

6年生は1月11日に体育館で席書会を行いました。6年生の課題は「夢の実現」です。冬休み前に2回体育館で練習し、冬休みには家庭でも練習をして本番に臨みました。「字形と行の中心に気を付け、力強く、大きく、太く書くこと」をめあてて練習してきました。

「神は細部に宿る」という言葉がありますが、それを意識するだけでも、文字はぐっと良くなります。

誰一人、声を発することのない静寂の中、一筆一筆集中して作品を書き上げていきました。子ども達が席書会で見せた集中力や真剣さはすばらしいものでした。

文字は人を表すと言いますが、心を込めて書いた作品は、どれも個性に溢れ、何かを語りかけてくるようです。

一人一人が一生懸命がんばって書いた作品を書き初め展でご覧いただけたことと思います。学んだことを生かし、今後の学習でも、丁寧に書くことを心がけていけるよう支援していきます。



給食費のお知らせ

2月の給食費の引き落としは15日(金)で、今年度最後の引き落としとなります。その後は口座からの引き落としは行われませんので、残高不足等で未納だった場合は学校まで現金でお持ちいただくこととなります。当日までに確認・準備をよろしくお願いいたします。

◆男子サッカー大会◆

渡邊 恒太

1月19日(土)に男子サッカー大会の予選リーグが行われ、2勝することができ、予選突破しました。そして、1月26日(土)に本大会が行われました。今までの練習の成果を発揮することができ、3連勝して優勝することができました。当日は、たくさんの保護者様や先生方の応援をいただきました。その声援も加わり、子どもたちは中島根小学校の代表として立派に、そして真剣に取り組むことができました。

12月から行われた練習や試合の中で、チームで協力することを学び、培ってきた頑張る気持ちをこれからのことに活かしてほしいと思います。



◆人生の先輩たちから温かいメッセージ◆

平山 秀人

昨年度に引き続き、1月17日(木)に元日本代表サッカー選手・岩政大樹さんに授業をしていただきました。校庭では6年生にサッカーの実技講習会を、続いて、体育館では5・6年生を対象に講演会を開いていただきました。サッカー選手になるまで、また、その後の岩政さんの生き方・考え方を、優しく熱い言葉で子ども達に語りかけてくださいました。

また、1月24日(木)には、グリーンパレット・開かれた学校協議会主催で、現役パティシエールの備藤依利さんをお招きし、中島根小の子ども達に、お菓子作りの仕事のことや大切にしていることとお話をいただきました。元・幼稚園教諭という備藤さんの笑顔に、子ども達も心を開いて、楽しみながら真剣に聞いていました。

新学習指導要領に内容として示されたこともあり、近年「キャリア教育」が推進されています。子ども達が将来の自分の姿を、具体的に描くにあたって、人生の先輩達からの温かい言葉は、大きなエネルギーになるはずです。こういった貴重な学びの機会を、今後も大切にしていきたいです。



◆校内研究◆

研究推進委員長 齋藤 香織

中島根小学校では、昨年度より国語で校内研究を行っています。児童の実態を見つめ、児童の力を伸ばしたいという思いで始めました。さらに、教員同士で授業を見合ったり協議し合ったりする中で授業力を高めていきたいという思いも加えて実践しています。今年度は、次の研究主題を立て、取り組んでいます。

研究主題：自分の考えをもって表現する児童の育成

昨年度の実態として、自分の考えに自信をもって表現することを苦手と感じる児童がいることがわかりました。そのことから、児童がもっと自分の考えに自信をもち、伝えあうことが楽しくなるような授業づくりをしていこうと話し合い、研究主題を決めました。低学年部会・中学年部会・高学年部会に分かれ、専科や特別指導教室の教員もそれぞれの部会に所属し、各部会で主題に向けて授業づくりをしています。

9月には高学年部会が担当し、5年1組で「物語の良さを伝えよう『注文の多い料理店』」の研究授業を行いました。「もし、最後の2行がなかったらどう感じるか」と問いかけることで、作者の宮沢賢治が物語に込めた思いを、児童がすすんで想像することをねらいました。また、少人数グループでの話し合いの時間を設け、自分の考えに自信をもち、広げていけるようにしました。

2行がなかった場合の文章から受け取る感じについて、児童は主体的に考え、グループの中で自分の考えを話す様子が見られました。全体の共有場面でも積極的に手を挙げて、発言することができました。単元全体を通して、宮沢賢治の表現の面白さを味わい、たくさんの発見をすることができました。



10月には低学年部会が担当し、2年3組で「声や動きで表そう『名前を見てちょうだい』」の研究授業を行いました。主題に向け、三つのことに取り組まれました。一つめは、毎時間の学習の流れをパターン化することで自ら授業に進んで取り組めるようにしました。二つめは、自分の考えの元となる教科書の文にサイドラインを引かせ、根拠をはっきりさせることで自信をもって自分の考えをもてるようにしました。そして、三つめは、学級全体での発表の前にペア学習を取り入れ、自分の考えをもっていても、全体では恥ずかしくて自分の考えを伝えられない子でも、伝え合ったり認め合ったりできるようにしました。

その結果、こちらで指示しなくても教科書の文に書かれていることを根拠として、自信をもって、ここからこう読み取れるということを伝えられる児童が増えました。また、学習の流れをパターン化し、見通しをもつことで進んで自分の考えを楽しみながら伝え合う姿が見られました。

今月半ばには中学年部会が担当し、今年度の研究の集大成として4年2組で、「わたしたちの生活とロボットについて考えよう『ゆめのロボットを作る』」の研究授業を行います。教材の読み取りをした後は、伝えることが楽しい、伝わるのが嬉しいと感じられるように、イメージマップを用いて自分の考えを広げ、それを使ったプレゼンテーションに導く予定です。

自信をもって楽しみながら伝え合える子どもたちが育つよう、校内で教員が一丸となって一つの主題に向けて、研究を進めていきます。